

団体名

結ガーデン

実施内容

まず、シルバー人材センター様に松南地区公民館の隣の空き地をお借りしました。市内の施設にポスターを掲示していただき、土づくり、花苗植えの参加者を募りました。当日は、公園緑地課に土と花苗をご提供いただき、地域の方々と協力しながら土づくりや花苗の植え付けを行いました。さらに、松南地区公民館の職員の方には日々の水やりにおいて多大なご協力をいただきました。その結果、夏には約100株の花苗が元気に育ち、色とりどりの花壇となりました。

9月に開催されたなんなんフェスタ(松南地区公民館の文化祭)では、来場した子どもたちに水やり体験をしてもらったり、風船かずらの種を配布したりすることで、花壇を通じた交流の機会を広げることができました。

11月には、エクセラン高校園芸農業コースの皆さんにご協力いただき、秋の花壇へと植え替えを行いました。

そして、活動を形として残すために花壇をテーマにした紙芝居づくりを行いました。

また、2月には信濃毎日新聞社様に本取り組みの取材をご依頼し、記事を掲載していただき、活動の成果を広く発信することができました。

目的

地域の道を華やかにして、地域の方々に自然に触れてもらう事を通し、世代を超えたつながりを作るため

効果

本活動により、100株以上の花苗が咲き、多くの方が行き交う場所を華やかにすることができました。景観の向上だけでなく「買い物の途中で横を通るのが楽しみになった」「きれいになってうれしい」といった地域の方々からの温かい声をいただき、花壇が日常の中の小さな楽しみになっていることを実感しました。

また、小さな子どもたちに水やり体験をってもらう機会を設けたことで、自然や植物に触れる体験の場を提供することができました。花を育てる過程に関わることで、植物への関心や大切にすることを育むきっかけになったと考えられます。

さらに、花壇づくりや花壇を活用したイベントを通して、これまで関わりのなかった地域の方々と新たなつながりが生まれました。世代を超えた交流の場が生まれ、地域コミュニティの活性化にもつながったといえます。

今後の課題

本取り組みにおける課題の一つは、コミュニティの持続性です。当初は、活動終了後に地域の方へ花壇管理を引き継ぐことも検討していましたが、しかし、実際には日々の水やりや季節ごとの植え替え、花壇全体の管理には継続的な労力と責任が伴います。負担が特定の個人や団体に集中してしまう可能性を考慮した結果、無理のない形での引き継ぎは難しいと判断しました。花壇管理を引き継ぐことは難しいと判断しましたが、だからこそ、現在ある花壇を最後まで大切に育てていきたいと考えています。

事業実施経過

年月	実施事項
令和7年4月28日	シルバー人材センターに、松南地区公民館の隣の空き地をお借りした。
令和7年5月中旬	松南地区公民館、松本市総合社会福祉センター、開明小学校、筑摩野中学校、南部公園、松本市役所若者参画課事務所に土づくりと花苗植えの参加者を募るポスターを貼っていただいた。
令和7年5月25日	土づくり(8人参加)
令和7年5月31日	花苗植え(7人参加)
令和7年9月14日	なんなんフェスタ(20人の子どもたちに水やりをしてもらった、4人に風船かずらの種を受け取っていただいた)
令和7年11月2日	花壇をテーマにした紙芝居制作
令和7年11月7日	秋の花苗に植え替える(22人参加)